

空気と水のテクノロジー

空気と水のテクノロジー

RYOWA REPORT

株主通信 Vol.27

第65期 中間期 業績のご報告
平成25年4月1日～平成25年9月30日

空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

証券コード 1965

ごあいさつ



株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、テクノ菱和グループは、このたび第65期(平成25年4月1日から平成26年3月31日)の中間決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

株式会社テクノ菱和
代表取締役社長 阿部 捷司

トップメッセージ

Q 上半期の建設業界を取り巻く経営環境はいかがでしたか？

A 当中間期は、政府による各種経済対策や金融緩和策などにより円安・株高が進行し、企業の生産活動も回復基調が続きました。また、2020年のオリンピック開催地として東京が選定されるなど、企業業績や景気の先行きに明るい兆しが見え始めてきました。

建設業界におきましては、公共投資は補正予算の影響で増加が見込まれ、設備投資もここにきてやや増加に転じるなど、明るい兆しも見え始めてきましたが、企業の慎重姿勢は根強く、依然として厳しい環境となりました。

Q 上半期の業績はいかがでしたか？

A 当社グループの上半期連結業績は、売上高19,190百万円、営業損失455百万円、経常損失392百万円、中間純損失272百万円となりました。

当中間期につきましては、受注は順調に推移しておりますが、受注案件の着工までには期間を要するため、完成工事高は前年同期と比べ減少しております。利益につきましては、工事原価の低減や不採算工事の減少などにより、前年同期と比べ赤字幅が縮小いたしました。

中間期の業績	当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)
売上高	19,190	20,394
営業利益	△455	△675
経常利益	△392	△573
中間純利益	△272	△525

Q 上半期の取り組みについて教えてください。

A 当期は、業績の回復をキーワードに掲げ、市場や外部環境の急激な変化へ対応し、採算性の改善と収益力の強化に取り組んでおります。

具体的には、部門別の予算管理を徹底するとともに、前期に引き続き調達本部を中心とした集中購買の推進、原価低減および不採算案件の排除などの施策を推し進めるとともに、既存設備の改修需要を確実に取り込むための組織を構築すべく、環境ソリューション事業部を発足させました。お客さまが抱える様々な問題をワンストップで解決できるよう、本事業部内に営業、設計、施工およびメンテナンスの担当を設け、設計、施工からアフターメンテナンスまでのすべての工程を一貫して行う体制を強化しております。

Q 下半期の見通しを教えてください。

A 下半期の建設業界におきましては、建設投資は総じて増加が見込まれますが、公共投資につきましては政策効果が徐々に薄れていくことが予想されます。設備投資につきましても、企業の投資マインドの改善は期待されますが、その回復度合いは緩やかなものに止まり、なお予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況のなか、外部環境の急激な変化に



対応できるように、営業体制を強化するとともに、原価管理の徹底などの施策を推し進めて、収益の改善と受注の確保に努めてまいります。

当期の連結業績見通しにつきましては、売上高が増加するとともに、工事粗利益率の改善が見込まれることから、売上高50,800百万円、営業利益600百万円、経常利益730百万円、当期純利益340百万円を見込んでおります。

当期の見通し	当期末予想 (百万円)	前期末実績 (百万円)
売上高	50,800	46,719
営業利益	600	183
経常利益	730	376
当期純利益	340	162

Q 株主のみなさまへのメッセージを
A お願いします。

国内の建設業界におきましては、近年、新築工事と比べると、改修工事の需要が拡大する傾向が続いております。こうした状況を踏まえ、当社グループといたしましては、既存設備の改修需要を確実に取り込むため、組織、サービスの両面で、さらなる強化を図ってまいります。

まず、組織面では、環境ソリューション事業部によるワンストップソリューションの構築を進めております。次にサービス面では、お客さまの既存設備の運用改善を支援するサービスとして「smart SOLAVICE（スマートソラビス）」を開始いたしました。本サービスでは、お客さまの設備について、日々の運用データを計測・分析することで、省エネとなる効率的な運用やデータに基づく最適なシステムの導入を支援してまいります。

当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しく、先行きは不透明な状況が続いておりますが、お客さまのニーズを的確にとらえ、最適な提案を行うことで、お客さまとのより強いパートナーシップを構築し、業績の向上につなげていく所存であります。

当期末の配当金につきましては、当期の業績見込みを勘案し、前期と同額の1株につき6円を見込んでおります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

太陽光発電事業に参入いたします。

当社は、愛知県丹羽郡に所有する遊休地において、太陽光発電施設の建設に着手しており、来年1月の稼働により、太陽光発電事業に参入いたします。発電した電力は、再生可能エネルギー特別措置法の固定価格買取制度を適用し、すべて中部電力株式会社に売電する計画です。

当社は、環境にやさしい生活空間の創造を目指すことを経営理念に

掲げており、同事業への参入により、未利用地の有効活用や太陽光発電システムの計画から施工、管理・運営に至るまでのノウハウ取得のほか、CSR活動の一環として、逼迫した電力状況への貢献やCO₂排出量の削減による地球温暖化防止の一助となることを期待しております。

施工実績

株式会社オークワ東海食品センター



概要	
竣工年月	2013年7月
施工地	愛知県春日井市
建物用途	物流施設
延床面積	48,671㎡ ※4棟合計
物件形態	地上3階他
工事範囲	空調・換気・冷凍冷蔵設備工事

本物件は、東海圏における物流機能の向上等を目的として建設された食品物流施設です。食品センター棟では、畜産品や水産品等の入荷、加工から配送までの一連の工程で作業を自動化しているほか、中央監視により一元的に管理された冷蔵・冷凍設備を用いて、入荷、加工エリアを低温化することにより、品温管理が徹底されています。



うつくしまふくしま未来支援センター



概要	
竣工年月	2013年5月
施工地	福島県福島市
建物用途	研究施設
延床面積	2,527㎡
物件形態	地上5階
工事範囲	空調・換気・自動制御・給排水衛生設備工事

国立大学法人福島大学は、東日本大震災および原発事故の被害に関する調査・研究を実施し、その結果に基づく地域の復旧・復興を支援するため、平成23年4月にうつくしまふくしま未来支援センターを設立しました。本物件は、放射性物質を測定する放射線分析装置室を設置するなど、同センターが今後も新たな課題やニーズに応じた支援活動を積極的に展開していくための活動拠点として建設されました。



PT.Yorozu Automotive Indonesia



概要	
竣工年月	2013年6月
施工地	インドネシア共和国 西ジャワ州 ミトラカラワン工業団地
建物用途	自動車部品製造工場
延床面積	19,322㎡
物件形態	地上1階
工事範囲	空調・換気・衛生・電気設備工事

本物件は、急速に車社会が進むインドネシア共和国における需要に対応するために建設された自動車部品製造施設で、主にサスペンション部品が製造されています。当社は、塗装施設で使用した水を、外部散水栓やトイレ洗浄に再利用できる逆浸透装置をはじめ、空調、換気、衛生および電気など設備工事全般の施工を行いました。



概要

場 所	愛知県丹羽郡扶桑町
敷 地 面 積	約3,400㎡
年 間 予 想 発 電 量	269,945kwh/年
稼 働 時 期	平成26年1月（予定）



テクノ菱和の技術の紹介

Vol.05

クリーンな空間、省エネルギーなどの環境問題、きれいな水づくり...

テクノ菱和の技術はあらゆる所で活躍しています。

そんな「環境のトータルエンジニアリング企業」である

私たちテクノ菱和の技術をみなさまにご紹介いたします。

News!

残留ホルムアルデヒド濃度低減システムを開発いたしました。(特許出願中)

当社は、既存の空調設備の運転方法を工夫することで、残留ホルムアルデヒド濃度を短時間で低減することができるシステムを開発いたしました。

なぜ、残留ホルムアルデヒド濃度を低減しなければならないの？

ホルムアルデヒドは人体に有害であるため、法的に非常に厳しい濃度規制が行われています。

医薬品工場や食品製造施設などでは、施設の隅々まで殺菌を行うためにホルムアルデヒドガスによる燻蒸が行われており、ホルムアルデヒド濃度が一定値以下になるまで室内での作業ができません。燻蒸後にホルムアルデヒドガスを排出しても、燻蒸時に壁やHEPAフィルタに吸着したホルムアルデヒドが徐々に室内に再放出してくるため、長時間にわたって室内での作業が制限されてしまいます。

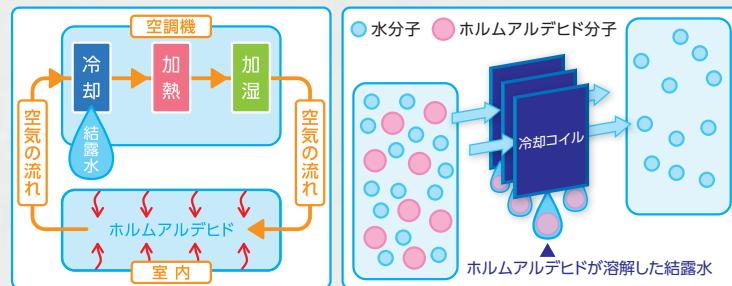
現在は、燻蒸後に入室するためには、ガスマスクを装着するか、アンモニアガスを用いて中和する方法がとられています。アンモニアで中和する場合、アンモニアとホルムアルデヒドが結合して粉状の異物が発生するため、クリーンルームのような高い清浄度が求められる環境では、この方法を使用することができません。そのため、残留ホルムアルデヒド濃度を短時間で低減することが課題となっています。

どうやって低減するの？

既存の空調設備の運転方法を工夫することで、ホルムアルデヒド濃度を速やかに低減します。

室内を30℃～40℃程度に加熱することで、壁やHEPAフィルタに吸着したホルムアルデヒドを意図的に再放出させ、加湿器と冷却コイルを組み合わせ、結露水を発生させます。発生させた結露水にホルムアルデヒドを溶解させ、除去します。このシステムを使えば、既存の空調設備の改修工事などを行うことなく、残留ホルムアルデヒドを短時間で低減することができます。

現在、いくつかの医薬品工場において試験を行っており、当社は、このシステムを使って安全で効率的な研究開発や工場生産を支援してまいります。



News!

スマートソラビス

クラウド型設備運用支援サービス「smart SOLAVICE」を開始しました。

当社は、クラウドを利用して、お客様の空調・熱源設備の運用状況を「見える化」してお客様と情報を共有するだけでなく、収集したデータを解析して、お客様の設備運用の最適化を支援するサービスを開始いたしました。当社が長年培ってきたノウハウと技術で、お客様の省エネ・コスト削減に貢献してまいります。

どうして、設備運用支援が必要なの？

建設設備のライフサイクルのなかで、全体の消費エネルギーの7割を占めるのが設備運用であり、過去の事例から、既存の設備の運転方法を最適化するだけで消費エネルギーを削減できるケースが多いことが分っています。

しかしながら、運転効率を最大限に引き上げる運用改善の方法は、気候条件や機器の組み合わせなど様々な要因により変わってくるため、最適な方法を見つけることは、お客様にとって難しい作業となります。そこで、当社が長年培ってきたノウハウと技術を活かして、お客様の設備運用を支援することで、最適な運用を行い、省エネ・コスト削減を実現いたします。



サポートセンター

スマートソラビスの特長は？

本サービスでは、お客様が運転状況を確認できるだけでなく、当社サポートセンターでも専門の技術者が運転状況を監視していますので、効率の悪い運転状況や将来発生するおそれのある不具合の前兆を早期に発見することができます。また、計測したデータを解析し、運転状況に合った機器の設定や運用方法の見直しを行い、運用効率の改善を支援するほか、設備のリニューアルを行う際には、既存の設備の運転状況に基づく最適なシステムを提案することができるので、将来にわたってお客様の設備の省エネ・コスト削減に貢献いたします。



連結財務諸表

中間連結貸借対照表の要旨

科目	前中間期 平成24年9月30日	当中間期 平成25年9月30日	前事業年度 平成25年3月31日
(資産の部)			
流動資産	26,776	25,386	30,056
現金及び預金	8,032	9,324	10,485
受取手形・完成工事未収入金等	17,141	14,626	18,779
未成工事支出金等	313	429	186
その他	1,289	1,006	604
固定資産	11,257	12,247	11,850
有形固定資産	3,474	3,289	3,415
無形固定資産	1,056	810	942
投資その他の資産	6,726	8,148	7,492
資産合計	38,033	37,634	41,907

中間連結損益計算書の要旨

科目	前中間期 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	当中間期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	前事業年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高	20,394	19,190	46,719
売上原価	18,542	17,156	41,376
売上総利益	1,852	2,034	5,342
販売費及び一般管理費	2,528	2,489	5,159
営業利益	△675	△455	183
営業外損益	102	63	193
経常利益	△573	△392	376
特別損益	△210	19	38
税金等調整前中間(当期)純利益	△783	△372	415
法人税、住民税及び事業税	124	51	255
法人税等調整額	△382	△152	△2
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	△525	△272	162
中間(当期)純利益	△525	△272	162

(単位:百万円)

科目	前中間期 平成24年9月30日	当中間期 平成25年9月30日	前事業年度 平成25年3月31日
(負債の部)			
流動負債	13,521	12,047	16,285
支払手形・工事未払金等	10,757	9,724	13,471
未成工事受入金	1,003	1,080	960
その他	1,760	1,243	1,853
固定負債	815	878	834
負債合計	14,337	12,926	17,119
(純資産の部)			
株主資本	23,159	23,299	23,710
資本金	2,746	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498	2,498
利益剰余金	17,918	18,060	18,469
自己株式	△4	△6	△4
その他の包括利益累計額	537	1,408	1,077
純資産合計	23,696	24,707	24,787
負債純資産合計	38,033	37,634	41,907

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前中間期 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	当中間期 自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	前事業年度 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,196	△964	1,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△157	△106	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235	△60	△402
現金及び現金同等物の増減額	△1,589	△1,131	556
現金及び現金同等物期首残高	8,829	9,386	8,829
現金及び現金同等物中間(期末)残高	7,240	8,255	9,386

Point

売上総利益率

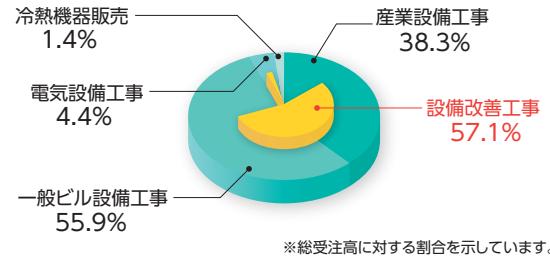
原価低減等の取組みにより、前中間期と比較して、売上総利益率が改善しています。(前中間期9.1% → 当中間期10.6%)

特別損益

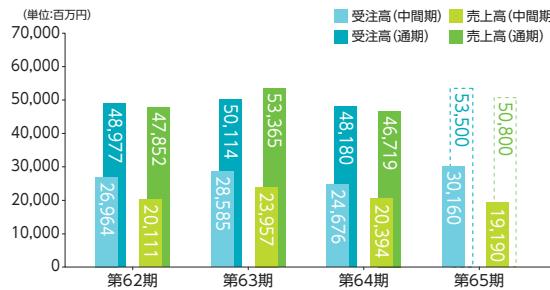
当中間期は、保有株式の一部を売却したことにより19百万円となりました。

業績レポート

当中間期連結受注高構成比



受注高・売上高



経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額・自己資本比率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



会社概要／株式の状況

会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号 株式会社テクノ菱和
(英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立 昭和24年12月23日
資本金 2,746,800,000円
上場 東京証券取引所市場第二部
従業員 637名 (連結737名)
本社 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地 東京都港区赤坂8丁目5番41号

主な事業所 技術開発研究所(東京都世田谷区)
東京本店(東京都豊島区)
千葉支店(千葉県千葉市)
茨城支店(茨城県土浦市)
北関東支店(埼玉県さいたま市)
東北支店(宮城県仙台市)
横浜支店(神奈川県横浜市)
名古屋支店(愛知県名古屋市)
静岡支店(静岡県静岡市)
大阪支店(大阪府大阪市)
中国支店(広島県広島市)
九州支店(福岡県福岡市)
海外事業部(東京都豊島区)

役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	阿部 捷 司	取締役	松橋 秀 明	取締役	若村 恒 夫
常務取締役	黒田 英 彦	取締役	知見 扶 公	常勤監査役	永江 繁
常務取締役	堂垣内 重 晴	取締役	濱野 豊	監査役(社外)	横山 真 次
取締役(社外)	佐藤 純 三	取締役	根岸 孝 雄	監査役(社外)	林 健一郎
取締役	平松 博	取締役	岡田 秀 司		
取締役	飯田 亮 輔	取締役	鈴木 孝		

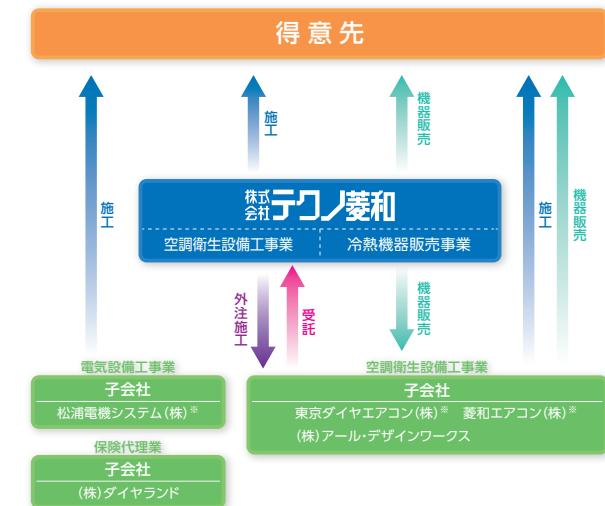
事業内容

当社グループは、産業用空調、冷暖房、給排水、衛生、電気設備等の設計・施工管理といった設備工事業、並びにそれに付帯する業務を行っております。お客さまのビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、設備診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、お客さまを総合的にサポートしてまいります。

- 産業設備関連事業**
清浄空間を必要とする各種製造工場や研究施設等における空調衛生設備工事を行っております。
- 一般ビル設備関連事業**
事務所、学校および病院等の一般建物における空調衛生設備工事を行っております。
- 冷熱機器販売事業**
設備工事に付帯する空調機などを販売しております。
- 電気設備工事業**
松浦電機システム株式会社にて、電気設備工事を行っております。
- 保険代理事業**
株式会社ダイヤランドにて、保険代理業を営んでおります。

企業集団の状況 ※連結子会社

東京ダイヤエアコン株式会社* 所在地 東京都新宿区 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社アール・デザインワークス 所在地 大阪府大阪市 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業
菱和エアコン株式会社* 所在地 愛知県名古屋市中区 主要な事業の内容 空調衛生設備工事業	株式会社ダイヤランド 所在地 東京都港区 主要な事業の内容 保険代理業
松浦電機システム株式会社* 所在地 大阪府守口市 主要な事業の内容 電気設備工事業	



株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。



ご優待内容	ご優待品「特選茶」
ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

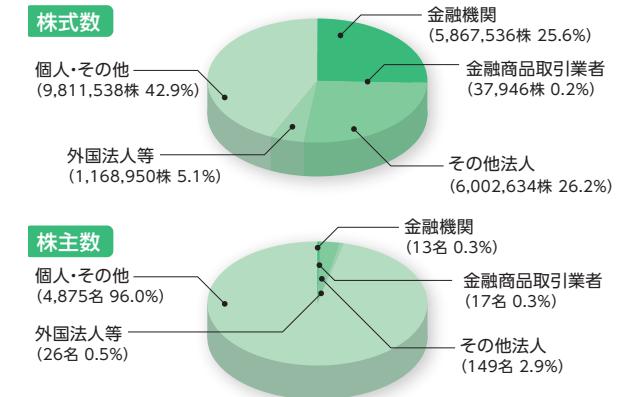
株式の状況

発行済株式の総数 22,888,604株
当中間期末現在の株主総数 5,080名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	2,098	9.1
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
東京海上日動火災保険株式会社	906	3.9
テクノ菱和従業員持株会	806	3.5
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1
近重 次郎	672	2.9

株式の分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先

【住所変更、買取請求その他各種お手続きについて】

- 証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

特別口座をご使用の株主様へ お早めに株式をお振替え下さい

特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買を行うことができません（単元未満株式は除く）。また、特別口座で管理されている株式は相続や贈与時のお手続きが煩雑になってしまいます。

ご所有の株式が特別口座に記録されている場合は、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式をお早めにお振替え下さい。詳しいお手続きにつきましては三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ下さい。

お手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL:0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキ
を使用して印刷しています。

UD
FONT

